

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 99 号 2024 年冬季号

2024 年 12 月 1 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415
<http://nadogaya-biotope.com/>

今年も収穫祭は盛大です

秋空の下、例年通りの「文化の日」に収穫祭が盛大に行われました。出井さん、中村さんはじめ前日までにしっかりと下準備されていましたので、竈でのもち米の蒸し、豚汁、大根おろし等多くの会員で進められました。10 時半頃からは臼と杵での餅つきが始まり「ペッタン・ペッタン」や「ドッスン・ドッスン」といい音がビオトープに響きました。子供達も杵持ち補助を受けながら頑張って搗きました。青空の下での搗きたてのあんこ餅、きな粉餅や大鍋で煮込んだ豚汁は最高です。 (小笠原 智)



初めてのもちつきに挑戦しました

私は初めてのおもちつきでした。会員の皆さんにやり方を教えてもらいながら持ったきねは想像していたよりもずっしりと重くびっくりしました。きんちょうしましたが「がんばれー」「ここを持った方がいいよ」と声をかけてもらったら気合が入り、心がもえました。だんだんきねにおもちがくっついて上げるのが大変になり、柔らかいおもちをつくことの



搗きたてのお餅はやっぱり美味しいです

大変さを学びました。また、かまどでは起こしてあった火をうちわであおがせてもらいました。風を送り、勢いよくもえるよう一生けんめいやりました。うちわ 1 枚であおいでいましたがみんなの意見で 3 枚使ったら「もっとよくもえるね!」と工夫してできたのも楽しかったです。がんばったので出来たてのおもちと豚汁は最高の味でした。妹は豚汁をおかわり、私もきな粉もちをたくさんたべました。小さかった稲の苗が大きくなり、美味しいもち米を実らせてくれたことにありがとうと伝えたいです。 (藤本 風々 小4)

今年も猛暑で稲刈りが大変でした



倒伏した稲の刈り取りは大変です



もち稲は倒れていないので少しははかどります

台風は来ましたが、幸いにも柏への直接襲来はありませんでした。それでも田んぼの中干しができないので、うるち稲は夕立時の強い風で少し倒れました。猛暑続きで倒伏もあるので、1時間も作業すると汗と泥でへとへtoになりました。9月1日から21日までの5日間で延べ63人参加でした。名戸小の稲刈り学習は予定日が猛暑、予備日も危険な暑さで急遽中止になりました。刈り取った稲束はパイプ棚で天日干しとし、今年は鳥除けネットは掛けませんでした。ビオトープだけではなく街中でも雀が少なくなっているような気がします。

(中干し：穂が出る前に田んぼの水を干して根張りを促す作業工程)

(小笠原 智)

脱穀作業は天候に左右されます

今年も稲刈り後の天候が安定せず、天日干しの乾燥具合が心配でした。最低でも脱穀前は2日以上晴れないと乾燥不足で作業ができません。10月13日は早めの8時頃から始め、昼休み前で終わらせました。足踏み脱穀機と唐箕、脱穀機+モーターでの作業ですが、皆さん慣れてきているので順調に進みました。終了後に藤心ライスセンターに粳摺り・精米をお願いしています。収穫量は昨年とほぼ同じで168kg、1反あたりは一般の田んぼの約1/3です。名戸小の脱穀は今年も学校の行事都合でありませんでした。(小笠原 智)



脱穀作業も慣れてきたので連携よく順調です



脱穀機での作業も手馴れ、止まることなく稼働です

秋の生きもの観察会

9月29日(日)9:00～10:00 曇り 気温 23℃

朝から曇天で風もなく、秋の気配を感じさせました。会員家族 16 名（うち児童 5 名）、市民 1 名の参加で観察会を行いました。捕獲網を持ち A、B ゾーン、三角池などを駆け巡り生きものを捕獲し、テーブルに並べたケースに入れ観察しました。9月最終週末となりましたが赤トンボでなくシオカラトンボが多く飛び回り、鳥類はあまり観察出来ませんでした。

アメリカザリガニ、ニホンアカガエル、カダヤシ、スジエビ、カワニナ、コバネイナゴ、チョウセンカマキリ、ナミアゲハ、カナヘビなどを捕獲できました。参加者は松清さんからの外来種の説明などをしっかりと聞いていました。児童からは外来種の反対で日本の在来種が外国に行ったものは何かと鋭い質問もありました。捕獲した生きものは元の場所に戻して観察会は無事に終了です。（藤平 三郎）



三角池で捕獲、観察中



田んぼの木道沿いを探索中



松清さんからの説明

秋の生態調査

10月23日(水)9:00～10:00 曇り 気温 22℃

気温は割合に高めで曇天、無風。終わる頃には小雨がパラつき不安定な天気でした。

参加者は松清さんほか 4 名で、A、B ゾーン全域を捕獲網で捕獲しながら廻り、調査しました。天気が良くない為、蝶類、トンボ、鳥類は殆ど飛んでいません。新しい種ではキゴ

シハナアブ、魚類では湧水池で珍しくドンコが捕獲されました。今回確認できた種は 32 種で、昨年同時期の 39 種より若干減りましたが天候の要因が大きいと思われます。引き続き皆さんの協力により環境の維持に努めたいと思います。（藤平 三郎）



生きもの調査中



捕獲した生きものをリストアップ



容器内：ドジョウ、ドンコ、アメリカザリガニ、スジエビ、カワニナ、サカマキガイ

大津ヶ丘第一小学校からの初来訪です

11月1日（金）に子どもたちと引率職員合わせて20名で名戸ヶ谷ビオトープに伺いました。当日は天候にも恵まれ、秋晴れの日となりました。育てる会の皆様も多数立ち会って下さり、子どもたちに色々なお話をして頂いたお陰で、大変貴重で有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

現在、大津ヶ丘第一小学校では創造性を育む一環として、児童と共に本校の観察池の再整備を行っています。児童の創造性を活かしたよりよい観察池にしていくために、池やビオトープ等の自然を観察したり、感じたりする経験が重要と考え、今回学校周辺の施設の中で最も整備が充実している名戸ヶ谷ビオトープに決めました。

現地に着くと、子どもたちは歩き疲れたことも忘れて、周囲の自然に目を奪われていました。小笠原会長からも講和を頂き、大賀ハスを育てていることやヘイケホタルが自生していることを伺い、子どもたちも驚いていました。その後、活動を開始すると、子どもたちはザリガニ釣りをしたり、色々な生き物を探したり、自然を感じたり、一人一人が自分らしくビオトープを満喫していました。予定していた40分の活動時間はあっという間に過ぎ、時間を延長しましたが、子どもたちからは帰り際に「もっと居たかった」という声があがりました。

帰着後、子どもたちに「学校の観察池をどんな池にしたいか」というアンケートをしたところ、「きれいで生き物がくらせるようにしたい」、「いろんな生き物が集まる池にしたい」といった回答が見られました。これも名戸ヶ谷ビオトープを見学・観察させて頂いたお陰で子どもたちの中にモデルケースができたからだと思います。これからよりよい観察池を子どもたちと共に楽しく作り上げていきます。

（大津ヶ丘第一小学校 あおぞら学級・そよかぜ学級 より）

学校から1時間以上かけて初めての来訪です。開始時の説明時間にも児童たちからは次々に質問が飛んできました。観察時は木道から捕獲網で虫を捕まえたり、ガマの穂をむしって飛ばしたりして楽しみました。水が冷たくなったのでザリガニ釣りはちょっと残念でした。次はもう少し早い時期に来てザリガニやたくさんの虫取りに挑戦して下さい。

（小笠原 智）



久米副会長から説明を聞いて始まりです



ザリガニ釣りに挑戦しましたが釣果なしでした

月例活動状況のお知らせ（9月から10月まで）

※11月は例年作業はありません

9月15日（日）

明朝から晴れ上がり暑い日となりました。南風がやや強く吹き渡り、汗ばんだ体に心地よい感じでした。名戸小の稲刈りが猛暑で18日（水）に延期となり、もち田3枚のうちの1枚を刈りました。残ったもち田2枚は名戸ヶ谷小の予定でしたが、予備日も猛暑で中止となり会員で刈りました。ぬかるみに足をとられ倒れ込む人もありましたが、うるち田のような稲の倒伏はなく、刈り取りが捗りました。



稲刈り風景



10月20日（日）

昨日の夏日から一転して気温は下がり、爽やかな秋晴れとなりました。作業は、はざがけパイプを解体して倉庫への収納、Bゾーンのアメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウなど外来種の刈り取り、そして稲わらを切断して田んぼへの散布をしました。藁の散布は時間内に終わらず半分ほど残りました。週末の26日（土）に完了しました。（藤平 三郎）



Bゾーン 外来種の刈り取り



はざがけパイプ解体



稲わらの切断と散布

新入会員紹介

～小谷 千満樹（こだに ちまき）さん～

初めまして、10月より入会しました小谷（こだに）です。出身は鳥取県日野郡日南町で、岡山県、広島県、島根県に接する中国山地の山奥で育ちました。趣味は、水曜日の「グランドゴルフ」、春と秋の天気の良い日はバイクでの「道の駅巡り」です。最近では減ってきましたが「温泉巡り」と「お城巡り」も楽しんでいます。会に入って自然を守る活動を学び、協力していきたいと思います。

宜しくお願いします。



ビオトープ銘板の更新です

掲示板前と北側入り口横にある銘板が腐朽して穴が開いてしまいましたので更新しました。厚さ 35 mm のケヤキ板を用意して、網永さんに毛筆で「名戸ヶ谷ビオトープ」と見事な字で書いて頂きました。ありがとうございます。

掲示板前は横書き、北側入り口は縦書きです。

(小笠原 智)



掲示板前の新しい銘板です



北側水路前も更新しました

12～2月の活動予定

- 12月15日 定例活動日（年末の掃除）
- 1月19日 定例活動日（ニホンアカガエル産卵場所整備）
- 25日 第23回定期総会
- 2月16日 定例活動日（ニホンアカガエル卵塊調査、他）

注）詳細の日時・作業内容はグループメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約 4,400 m² 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物 26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）